

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月23日

計画の名称	藤沢市における災害に強いまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和04年度（4年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	藤沢市												
計画の目標	<p>本市では、津波や豪雨による浸水等、あらゆる災害に対応可能な市域全体の防災機能の向上が急務となっている。</p> <p>災害時における市民等の応急飲料水を確保するため、耐震性貯水槽を整備する。</p> <p>水防法が平成27年7月に改正され、浸水想定の対象降雨が計画規模降雨から想定最大規模の降雨に見直されたため、本市が管理する河川においても洪水による流出解析等の危険度判定調査を実施し、新たな想定による洪水及び津波ハザードマップを作成することにより、危険箇所の周知が図られ、ハード面に加えソフト面からの事前対策の充実を図る。さらに、災害時の被害を最小限に留めるため、避難所等へ施設の情報を表示した看板を設置し、きめ細かな避難対策を図る。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	136	A	109	B	0	C	27	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	19.85	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R2末	R4末
1	市内の14地区（藤沢地区は2地区とし、片瀬地区は地形的条件から別に江の島1カ所増設）全てに耐震性飲料用貯水槽を整備することにより、市民等の応急給水対策の強化を図る。 全地区に耐震性貯水槽を整備することで、応急給水率が向上する。 応急給水率 13地区 / 14地区 = 93%      14地区 / 14地区 = 100%	93%	100%	100%
2	浸水想定区域を見直したハザードマップを作成し、配布率を100%に増加させる。 浸水想定区域変更後の新たなハザードマップの配布率が向上する。	0%	100%	100%
3	市内の公共施設等を避難施設や水害避難所等として指定している場所等へ避難場所等であることを示す表示看板を全箇所整備する。 避難場所等をあらかじめ住民に周知することで、安全かつ迅速な避難率が向上する。 安全・迅速避難率 0箇所 / 142箇所 = 0%      142箇所 / 142箇所 = 100%	0%	51%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	藤沢市	直接	藤沢市	-	-	地区公共施設等整備(藤沢地区)	耐震性貯水槽の整備1基	藤沢市						47	-	
	A13-002	都市防災	一般	藤沢市	直接	藤沢市	-	-	災害危険度判定調査	洪水による流出解析等の危険度判定調査	藤沢市						62	-	
											小計						109		
											合計						109		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	藤沢市	直接	藤沢市	-	-	指定緊急避難場所表示看板等設置事業	指定緊急避難場所・指定避難所への表示看板設置	藤沢市						14	-		
		指定緊急避難場所・指定避難所への表示看板を設置することで避難対策の推進を図る。																		
	C13-002	都市防災	一般	藤沢市	直接	藤沢市	-	-	ハザードマップ作成	津波ハザードマップ作成・印刷、洪水ハザードマップ作成・印刷	藤沢市						13	-		
		津波・洪水ハザードマップを作成し配布することにより、住民が自ら住んでいる地域の災害に対する危険性への認識を深め、住民主体の防災活動の意識を高める。																		
											小計						27			
											合計						27			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
藤沢市 防災安全部 防災政策課及び災害対策課（旧危機管理課）	令和7年度
	公表の方法
	藤沢市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	耐震性貯水槽を1基整備したことにより、市内全地区において災害時における市民等の応急飲料水を確保することができた。また、新たな想定による洪水及び津波ハザードマップの作成・配布により、危険箇所の再周知及び防災・減災対策の充実が図られた。さらに、指定緊急避難場所・指定避難所への表示看板を対象数142箇所に対し、135箇所に設置したことにより、あらかじめ住民に周知することができ、安全かつ迅速な避難対策の推進が図られた。なお、残る7箇所については、計画期間後であるが、令和6年度に完了した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性飲料用貯水槽の適正な維持管理による応急給水体制の確保</li> <li>災害想定での周知による安全安心な居住環境の確保及び避難対策の充実</li> <li>指定緊急避難場所（大規模火災）案内看板の更新等の推進</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	応急給水率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	ハザードマップの配布率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	安全・迅速避難率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	95%
		計画期間内において、概ね達成できた。